第５回 伊予銀行決算説明会
＆
特別講演会

役員 新体制

代表取締役 会長	麻生 俊介
代表取締役 頭取	森田 浩治
代表取締役 専務	脇口 倉重
代表取締役 専務	阿部 紀夫
常務取締役	白石 友一
常務取締役	十河 嘉彦
常務取締役	兵頭 正

伊予銀行

当行のプロフィール

本店所在地	愛媛県松山市	
創業	明治11年3月15日（第二十九国立銀行設立）＜127周年＞	
創立	昭和16年9月1日＜63周年＞	
資本金	209億円（発行済株式総数 323,775千株）	
従業員数	役員　19人、職員　2,649人（臨時を除く）	
拠点数	国内　150か店（出張所7を含む）、海外1か店（香港）	
	≪愛媛県118か店、大分県・広島県各6か店、香川県5か店、その他15か店≫	
	駐在員事務所2か所（ニューヨーク、上海）	
主要勘定等	預金等（預金＋譲渡性預金）	3兆9,545億円
	貸出金	2兆8,782億円
	総資産	4兆4,453億円
	純資産	3,130億円
	自己資本比率（国際統一基準・連結ベース）	11.90%

（※平成17年3月末現在）

伊予銀行

当行が目指す銀行像

愛媛県、さらには瀬戸内圏域の
全ての方々にとって
『存在感ＮＯ.１』の地方銀行

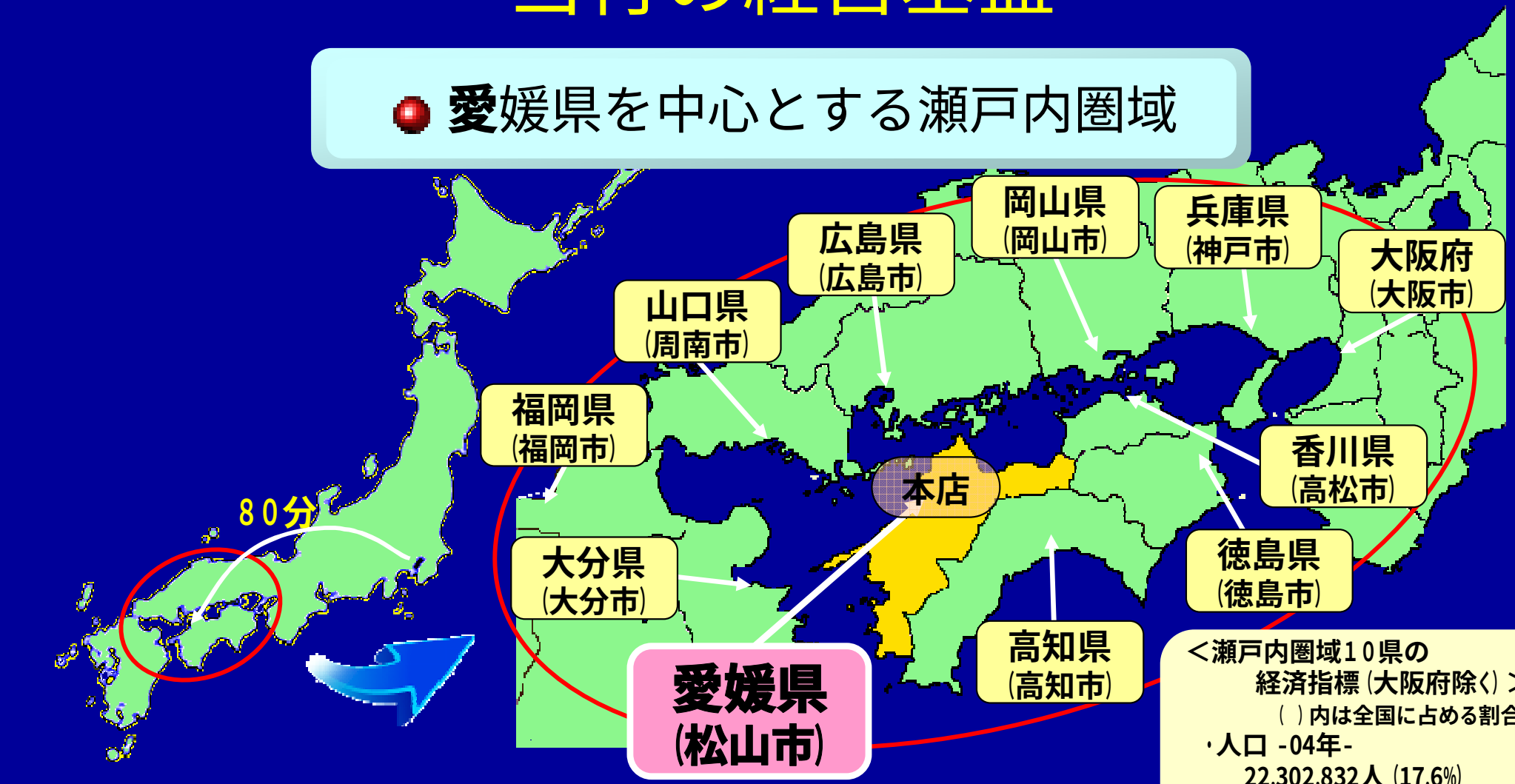
当行の経営管理手法

ＴＱＣ活動２１年の実績（昭和５９年より）
方針管理、ＱＣサークル活動、提案制度

伊予銀行

当行の経営基盤

愛媛県を中心とする瀬戸内圏域



東京 80分 松山 15分 伊予銀行 本店 10分 道後温泉 (日本最古)

(夏目漱石 「坊っちゃん」、司馬遼太郎 「坂の上の雲」)

＜瀬戸内圏域10県の経済指標（大阪府除く）＞

（ ）内は全国に占める割合

・人口 -04年-
22,302,832人 (17.6%)

・県内総生産（名目） -01年度-
772,538億円 (15.5%)

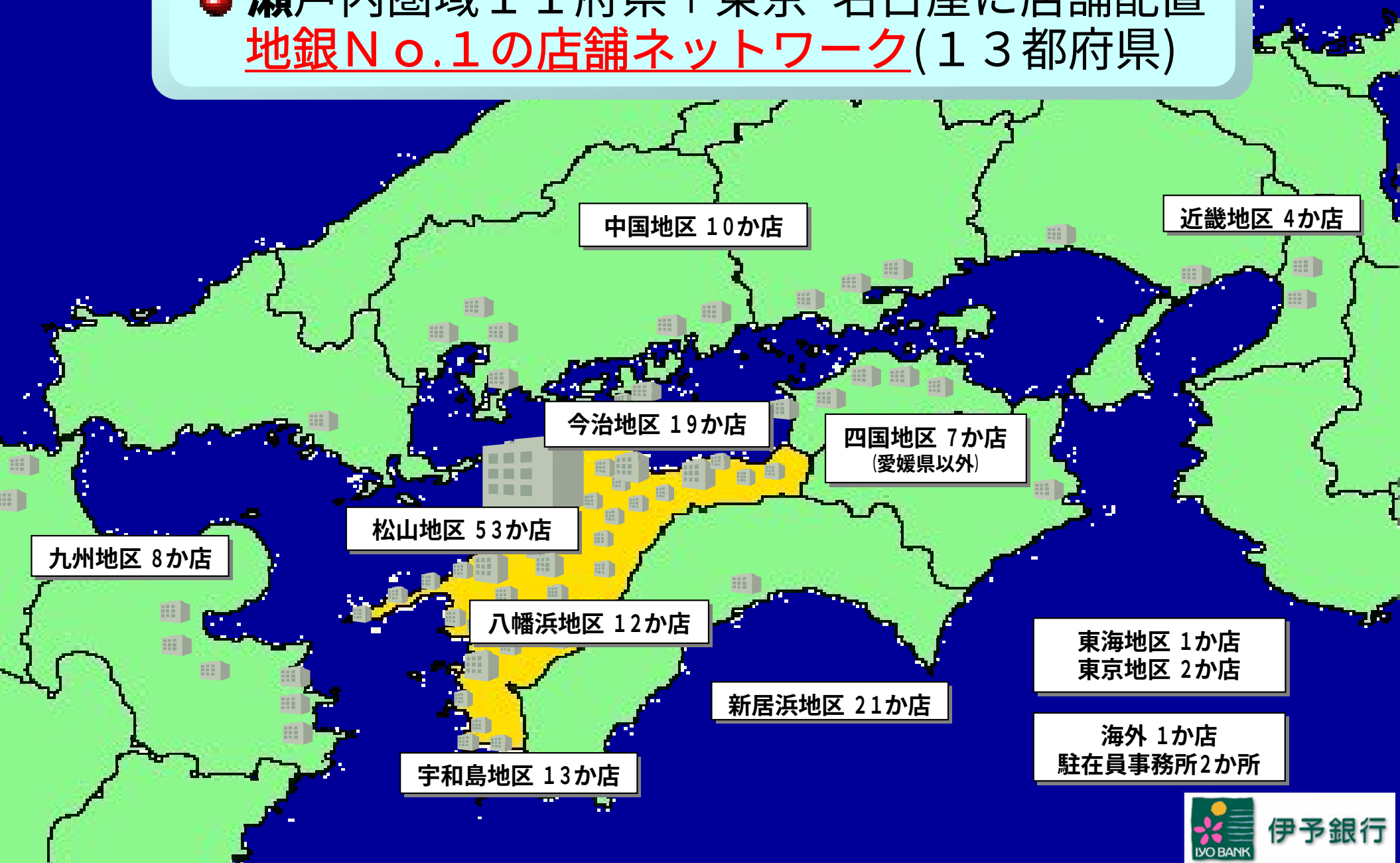
・製造品出荷額等 -02年-
471,831億円 (17.5%)

・新設住宅着工戸数 -03年-
173,271戸 (14.9%)

伊予銀行

当行の経営基盤（店舗網）

- **瀬**戸内圏域１１府県＋東京･名古屋に店舗配置
  地銀Ｎｏ.１の店舗ネットワーク(１３都府県)



伊予銀行

平成１６年度決算の特色

～増収・増益～

- コア業務純益・経常利益・当期純利益(１７９億円)ともに過去最高

預金等残高 39,545億円、年間増加額 1,479億円、増加率 3.9%
～4兆円の大台まであと一歩の水準～
中四国地銀第1位の増加率

貸出金残高 28,782億円、年間増加額 886億円、増加率3.2%
～『5,000先開拓』運動等により事業性貸出金が増加基調へ～
中四国地銀第2位の増加率

信用コスト 60億円と激減 *～前年度比▲78億円～*

期末配当1円増 *～16年度通期で6円～*

- 高い安全性・健全性を示す諸指標

不良債権比率は3.28%まで低下 *～前年度比▲1.15p～*
地銀64行中第6位

自己資本比率(国際基準・連結) **は11.90%まで上昇** *～前年度比＋0.54p～*
地銀64行中第10位

有価証券評価損益は1,294億円 *～前年度比＋122億円～*
地銀64行中第4位

伊予銀行 IYO BANK

当行の経営指標の特性（１６年度）

● 高い健全性、収益性のさらなる向上を目指す

健全性

預金等平残増加率（過去3年間）
当行実績：6.08％
地銀平均：3.01％

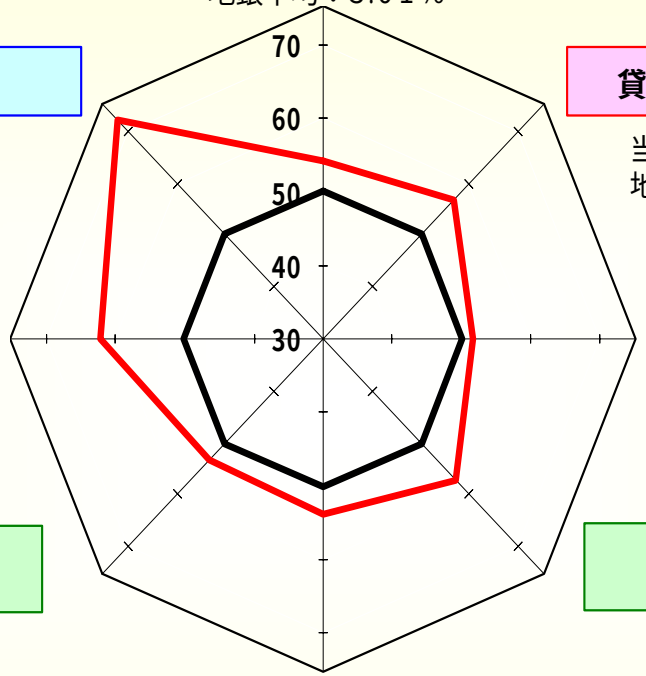
有価証券含み益（連結）
当行実績：1,319億円
地銀平均：　403億円

不良債権比率（金融再生法）
当行実績：3.28％
地銀平均：5.58％

成長性

貸出金平残増加率（過去3年間）
当行実績：　5.66％
地銀平均：▲0.10％

コア業務粗利益増加率（過去3年間）
当行実績：　1.69％
地銀平均：▲0.28％



収益性

ROA（コア業務純益／総資産）
当行実績：0.71％
地銀平均：0.65％

OHR（経費／コア業務粗利益）
当行実績：58.69％
地銀平均：64.43％

ROE（当期利益／期首･期末平均自己資本）
当行実績：7.86％
地銀平均：4.78％

地銀平均に対する偏差値
地銀平均＝50
当行

（注）ROE計算上の分母には、「資本の部合計」から「株式等評価差額金」を控除したものを使用

伊予銀行

今後取組むべき主な経営課題と施策

さらなる「経営体力の強化」のために

貸出金のボリュームアップによる増収

新規融資事業所『5,000先開拓』運動を展開中
～先数増加にこだわった営業推進により、貸出金増加基調を継続～

収益性の高い個人融資の強化

住宅ローン *～柔軟な対応のローンプラザ、迅速な審査体制～*
カードローン *～「さっと・ほっとカードローン」、独自の審査モデル～*

フィービジネスの強化

預り資産の増強への取組み
～窓口営業体制の再構築（専用コーナー9か店）～

企業再生への取組み強化

「企業コンサルティング部」を中心とした再生ファンドスキーム等による積極的な再生支援

２００３年度中期経営計画 数値目標達成状況

～ Challenge ３５７ ～

＜平成１５年４月～平成１８年３月＞

- ***上方修正後の目標達成に向け順調に推移***

	１５／３実績	１６／３実績	１７／３実績	１８／３目標
コア業務純益	２９１億円	３０６億円	３１５億円	３２０億円以上
不良債権比率	4.82%	4.43%	3.28%	3%以下
業務粗利益経費率	61.4%	59.3%	58.7%	50%台
自己資本利益率	0.78%	5.27%	7.86%	7%以上
当期純利益	１６億円	１１３億円	１７９億円	１８５億円

伊予銀行